

冬 着物姿の女性らが良縁を願って の風物詩 三寺まいり

1月15日（月） 古川町

古川町で200年以上続く冬の伝統行事「三寺まいり」が行われ、約18,000人が足を運びました。

三寺まいりは、親鸞聖人のご遺徳を偲んで、町内の3つのお寺を参拝したことが起源とされ、明治時代からは野麦峠を越え糸引きに行った女工たちが帰省し、着飾ってお参りをした際に、若い男女の出会いの場となりました。現在では、縁結びのおまいりとして広く知られています。

この日、瀬戸川沿いには約1,000本の和ろうそくが灯され、着物姿の女性らがゆらめく炎に手を合わせる姿や、恋愛成就を願う灯ろうが瀬戸川に静かに流れるなど、町は幻想的な雰囲気に包まれています。



千本ろうそくに手を合わせる着物姿の女性ら



本堂で参拝する様子



願いを込めて灯ろうを流しました



優しく温かく揺れながら灯るろうそく



大勢の人でにぎわう町並み



まつり広場で行われた点灯式



オカダミノルさんらによるラジオの公開生放送

吉 YCKプロジェクトで「三寺ミッション」 城高校生も三寺まいりを盛り上げました

1月15日（月） 古川町

吉城高校の生徒が「三寺まいり歴史探検ツアー」を初めて行いました。これは、三寺まいりの歴史や本質を子ども達に伝えようとYCK（吉高地域キラメキ）プロジェクトのリーダー達が有志で企画し、初開催したものです。

当日は、高校生が着物姿で3カ所のお寺で三寺まいりの歴史や、お寺の秘密などを説明しました。ツアーはスタンプラリー形式で行われ、3寺をまわった子どもには生徒が手作りしたプレゼントを渡しました。

また、同町の和光園でもプロジェクトを行いました。同園前に雪像ろうそくを作成したり、同園利用者の願い事を書いた祈願ろうそくをもらい、代わりに祈願するなどを行いました。



大横町公園での受付の様子



多くの子どもが参加しました



高校生が作成した原稿で説明を行いました

飛 様々なプロジェクトがスタート 驒市を「えごまの町へ」

1月11日（金） 市役所 第1ミーティングルーム

市では、「飛驒えごま」の更なるブランド化を目指し、市内外にPRする取り組みや健康まちづくりへの取り組みなどを行う「飛驒えごまの里推進プロジェクト」として官民一体となって事業を進めています。

この日はプロジェクトの発表のため記者発表が行われ、えごま栽培農家やアルプス薬品工業（株）、えごま商品を取り扱う販売企業など9人が参加しました。

同プロジェクトのキックオフイベントとして、1月14日（日）～21日（日）には「飛驒えごまWEEK」として、ワークショップや飲食店等によるえごま料理の提供などが市内で行われました。



えごま商品やタペストリーを手に集合写真

こ 政井吉郎さん100歳長寿者褒賞 これからもお元気で

1月4日（木） 河合町

河合町の政井吉郎さんが百歳を迎えられました。都竹市長や市民福祉部の柚原部長などが自宅を訪問し、賞状やお祝いの花束などを政井さんに手渡しました。

この日は娘夫婦や孫、ひ孫らもお祝いに駆けつけました。

政井さんは「仕事など続けてこられたのも健康でいられたからだと思う。これからも毎日の散歩を続けて健康で元気に過ごしたい」と話していました。

都竹市長は「政井さんは本当にお元気で、こちらの方が元気をもらえる。これからも笑顔で過ごしてください」と話していました。



孫やひ孫と記念写真

ふ 全国で10番目の取り組み るさと納税に新たなサービスを追加しました

1月15日（月） 市役所 第1ミーティングルーム

日本郵政株式会社東海支社と飛驒市は「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定」を締結しました。

このサービスは、期間中、毎月1回郵便局員が自宅を訪問、普段の生活内容などの聞き取りや、写真の撮影を行い、申込者に報告をする仕組みとなっています。ふるさと納税制度を通して、現在市外在住の方が、市内にお住まいの親、兄弟、親戚などを定期的に見守ることができるようになります。

同様の協定の締結は、東海4県で初、全国で10番目の取り組みです。



締結式には「ぼすくま」も駆けつけました

飛 新春経済懇談会が行われました 驒市経済界の更なる発展を

1月6日（土） 神岡町 船津座

飛驒市新春経済懇談会が神岡町の船津座で行われ、市内の企業代表者や各種団体役員、行政関係者など約120人が参加しました。

この懇談会は、新春を迎え、飛驒市の更なる発展のために、経済団体をはじめとする関係者が新年の抱負や希望を語り合う場として毎年行われています。

祝宴では、市議会の葛谷議長による乾杯や神岡民謡保存会による座付、湊、神岡めでたなどの祝唄が行われました。

会場では、参加者同士の意見交換や情報共有が行われ、交流を深めました。



亀谷会頭のあいさつ



飛騨市ホームページでもご覧いただけます

<http://www.city.hida.gifu.jp/>

飛騨市

検索

飛 飛騨市ファンの集いin東京を初開催

1月20日（土） 東京都

飛騨市ファンの集いが東京都の飛騨居酒屋蔵助で行われ、飛騨市ファンクラブの会員など55人が参加しました。

集いでは、市内の名物やお酒などがずらりと並び、参加者同士の交流を深めたり、飛騨市への思いなどを語り合いました。また、市に関するクイズや食レポコンテストなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

飛騨市ファンクラブの会員数は1月末現在1,820人となりました。新しいデザインの会員証の準備なども進めています。今後も引き続き、全国に飛騨市ファンを広めていきます。



会場は大いに盛り上がりました

柏 県内では柏木さんを含め3人が受賞 柏木さんが厚生労働大臣表彰を受賞

1月17日（水） 河合町 いなか工芸館

河合町の伝統工芸品である「山中和紙」作りを行う同町の柏木一枝さんが平成29年度「卓越した技能者」（現代の名工）として厚生労働大臣表彰を受賞しました。これを受けて、同町のいなか工芸館で表彰伝達が行われました。

柏木さんは、原料の栽培から紙すきまで全て手作業で、伝統的な手法で鎌倉時代から生産されている山中和紙作りを50年以上続けています。

柏木さんは「この表彰を励みに、今までよりも良い紙を生産できるよう取り組んでいきたい。また、家族とともに和紙作りを続けていきたい」と話していました。



賞状などを手にする柏木さん

映 多くの市民らが映画を堪能 画「ひなたつむ」上映会が行われました

1月28日（日） 神岡町 船津座

「ひだ」で映画を撮ろうプロジェクトで制作された映画「ひなたつむ」の作品上映会が28日、神岡町の平成の芝居小屋船津座で開かれ、市民ら約330人が鑑賞しました。

この日は、上映会初日で船津座には多くの市民らが詰めかけ、開場前には船津座の会場外まで並び、大盛況となりました。

上映会では、映画を制作したstudiotoshi+Rを支える会の代表田中拓朗さんが「ひだで映画を撮ろう」の企画などについての説明があり、都竹市長のあいさつの後、いよいよ「ひなたつむ」が上映されました。



ステージで撮影した記念写真

文 3署で冬季の消防訓練 文化財に対する防火意識向上を図る

1月18日（木） 河合町有家

昭和24年1月26日、法隆寺金堂の壁画が焼損したことから、文化財を守るとともに文化財の愛護に関する意識の高揚を図るため、この日は文化財防火デーと定められています。毎年消防本部ではこれに合わせ消防訓練を実施しています。

古川消防署北分署では、古川消防署、河合振興事務所、河合駐在所と合同で、河合町有家の白山神社で訓練を実施しました。同駐在所員らによる初期消火と通報訓練が行われ、消防職員による消火活動を実施しました。

同様の訓練は古川消防署、神岡消防署でも行われました。



ホースを3本展開し、消火訓練を行う消防隊